

5 <放送を視聴するにあたって>

○テレビ・ラジオの視聴・聴取の方法

・NHK高校講座の視聴・聴取

- ①NHK高校講座は通信制高校生の自学自習のために提供されているので、学習の理解、レポート作成の参考に積極的に利用するのが望ましい。
- ②番組表は各レポートの表紙裏面に掲載されている。
- ③放送時間が決まっているので、録画・録音の設備がある場合は、各自録画・録音して利用する。
- ④その他、インターネットを利用する方法（以下を参照）がある。

・自宅や身近に、インターネットに接続できるスマートフォン・タブレット・パソコンがある生徒

- ①インターネットで「NHK高校講座」（www.nhk.or.jp/kokokoza/）を開く。
 - ②視聴・聴取る科目を開く。
 - ③1～3学期の番組表から、視聴・聴取る番組のタイトルをクリックする。
- #### ・自宅や身近に、インターネットに接続できるスマートフォン・タブレット・パソコン、録画・録音の設備がない生徒
- ①通信制面接室のパソコンで視聴できる。操作の手順は上記と同じである。
 - ②通信制面接室を利用する場合、前もって担任を通して予約をする。また「面接室におけるコンピュータ等使用上の注意」を厳守すること。

○視聴報告書作成上の注意

- ①必ず教科担当者から、「視聴指示書」を受け取ること（「視聴指示書」は締切の1週間前までに受け取ることが望ましい。）。
- ②「視聴報告書」（本校のホームページにもアップしてある。）に記入し、教科担当者に郵送する。
- ③「視聴報告書」の作成は手書きとする。ワープロソフトでの作成は認めない。
- ④「視聴報告書」は各教科の記入例を参考に、視聴日、放送日、視聴場所、放送のテーマ、講師名、感想など空欄がないように記入する
- ⑤各番組毎に「文字と画像で見る」、「学習メモ」、「理解度チェック」などの視聴・聴取の資料が準備されているので、参考にする。ただし、それらを写しただけのものは不合格とする。
- ⑥「視聴報告書」は、計画的に作成し提出する。「再提出」の場合を考えて、早めに提出すること。
- ⑦「視聴報告書」は、同一科目を一つの封筒に2枚（1時間分）までを同封して提出することができる。同一科目の同じ日（消印）の提出は2枚までとする。
- ⑧「視聴報告書」が合格したら、2枚につき1時間の出席扱いとなる。
- ⑨視聴報告が可能なのは、各科目の必要面接時数の10分の6までである。
- ⑩「国語表現（旧）、公共、数学A（前期）、保健、論理・表現Ⅰ、英語会話、情報Ⅱ、経済活動と法」は視聴報告ができないので、注意すること。

○DVDによる視聴・聴取の方法

「総合的な探究の時間」（科目名：総合探究Ⅰ～Ⅳ前期・後期）はDVD視聴による視聴報告書作成となるため、担任の先生を通じて、総合探究の担当者にDVDを借用すること。

○視聴報告書の合格期限

前期は8月1日（木）、後期は1月23日（木）を合格の期限とする。ただし「再提出」の場合を考えて、早めに提出すること。

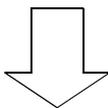
学校(通信制面接室)で

高校講座の放送視聴を行うための手順

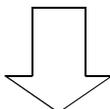
湧心館高校通信制 放送教育・ICT活用推進委員会

放送視聴を希望する場合は、必ず事前に…

教科担当の先生から「視聴指示書」
を受け取る。



希望する日時を担当の先生を通して、予約する。



コンピュータの準備と収納は、担任
の先生の指示に従う。

※「【生徒のみなさんへ】面接室におけるコンピュータ等使用上の注意」を、必ず守ること。

※個人の「イヤホン」や「ヘッドホン」を使いたい生徒は、持参すること。